

# 1.建設汚泥の再生利用形態別\_有効利用事例（地盤改良工事排泥）

対象原泥	発生種別	地盤改良工事排泥	連続地中壁工事排泥	泥土圧シールド排泥	浚渫工事土砂
	発生土区分	建設汚泥	浚渫土		
泥土性状	泥土種別	自硬性	非自硬性		
	含水比	原泥 200~300% → 貯泥・調泥後 100~120%			
	土質区分	粘性土	砂質シルト	砂質土	
	有機質	含有なし	強熱減量5%未満	強熱減量5~15%未満	強熱減量15%以上
利用区分	利用用途	盛土	埋戻し	道路路体(路床)	植生土壌
	利用形態	自ら利用	個別指定	有償売却	残土利用
要求品質	品質区分	第1種処理土	第2種処理土	第3種処理土	第4種処理土
	pH	特になし	中性		
	強度発現	1日	3日	7日	28日
	再泥化	制限あり	制限なし		
処理方法	施工方法	安定処理	スラリー化安定処理	脱水処理	
	工法名	イーキューブシステム	TAST工法		
使用固化材	高分子凝集剤	水溶性高分子凝集剤	←市販品		
	同上使用量	2kg	←現状換算 約20kg		
	固化材	アッシュスター	エコハード	ハーデン	有機質対応型
	同上使用量	150kg			
リサイクル量	日平均施工量	150m <sup>3</sup>			
	総量	5,000m <sup>3</sup>	処理機構成	25m <sup>3</sup> 機×1台	

## 【概要説明】

地盤改良工事である高圧噴射攪拌工法によって排出された廃泥 30,000m<sup>3</sup>の内、5,000m<sup>3</sup>を自ら利用にて場内仮設道路の軟弱な道路路床と置き換えて利用した。（設計変更）



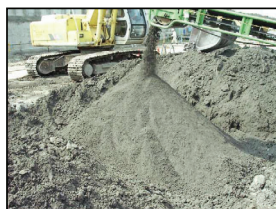
原泥



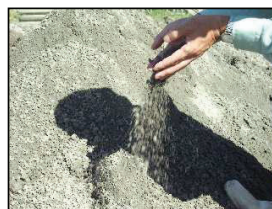
調泥後投入状況



施工状況



処理完了



粒状状態